

# 前回委員会のご意見への対応状況

令和5年6月17日  
生活環境調査委員会（第5回）

# 前回委員会のご意見への対応状況

## 対応方針

今後の予測評価については、前回委員会のご意見を踏まえ、以下のとおり対応します。

ご意見	対応方針
地下水の予測について、環境影響評価の結果は問題ないが、工事時に一部掘削により水が出る可能性について注意したほうがよい。また、工事時に注意すべきことも説明したほうがよい。	工事中の地下水位の変動をモニタリングし、測定結果に応じて対策を実施して参ります。また、発注時に一部掘削により水が出る可能性があることを事前に施工業者へ周知するとともに、工事用の仮設排水管の設置等を検討して参ります。
悪臭の予測について、予測方法は定性的に類推する方法とあるが、表現がわかりにくい。	「エコフロンティアかさまの埋立廃棄物や悪臭の発生状況をもとに、定性的な予測を行う方法」という表現に修正いたします。
大気質の粉じんの予測について、実際に計画地を調査したが、特異的な地形であるため、諏訪観測所の風向とは異なり、計画地はより北風が卓越しているように感じられたことから、予測地点における粉じんの影響はさらに低い値になるのではないかと。	諏訪観測所での風向だけでなく、計画地で卓越している北風での予測評価を実施し、問題ないことを示すようにいたします。
新設道路周辺の騒音に関して、処分場整備前のバックグラウンドを把握しておくとうい。	処分場が稼働する前の騒音等のバックグラウンドを測定する方向で検討して参ります。
植物と昆虫はここだけが生息地なのかどうかといったことを踏まえて、対策や継続的な観察をしていく必要がある。	生息地の改変状況を踏まえた対応を行い、工事中にも継続的な観察を実施して参ります。